加茂女の２０２２（令和４）年度の活動報告

**１）かもめの収益事業**

毎週・月・水・金曜日にカフェ開催（かもめの台所）

毎週木曜日ランチ開催 （かもめの台所）

商品販売・・・インターネット・店頭販売

・委託販売（お茶の京都の道の駅の収益が伸びてきている）など

**２）かもめの環境整備事業**

**竹林整備**

４月から３月まで、第２日曜日と第４土曜日の２回放置竹林整備

当尾のワサビ畑の再生と周辺土地の買収。（現在１・２ha買収済み）

当尾の竹林の作業道設置工事および駐車場を制作

山城竹林の整備（当尾の竹を運び竹炭に製造、また当尾に運んで土壌改良剤として活用）

**アルミ缶回収**

毎月第２火曜日にアルミ缶回収

その売上金（176,221円）の収益分（55,965円）を木津川市社会福祉協議会に寄付

**ミニコミ誌発行**

毎月第1火曜日に加茂女つうしん発行・配布（3,500部×12か月）

此の年度は「加茂女の活動の総まとめ冊子」を4000部作成して配布（木津川市には農政課に250部・教育委員会に250部を進呈）

**イベント開催**

竹林やかもめの台所でのイベントの取り組み（イベント開催１１回）

（竹と筍の魅力発信基地をめざす事業および加茂地区過疎化に向けての移住促進事業としての取り組みで農業マッチングセミナー３回を含む）

**３）その他の報告**

コロナ禍の緩和でイベントが再開され、3月3日には関西テレビ「よーいどん」で放送されて一気に売り上げが伸びた。

大学生のボランティア活動は再開できなかったものの泉川中学校の生徒が視察に来たり、木津川アートのメンバーや国際高等技術研究所が竹のイベントを組んでくれたりの行事が有った。

また、山城の竹林をキャンプ場や障がい者の放課後児童の野外活動場所、サバイバルゲームの場所としての貸し出しを依頼され活用が進んでいる。

（基本1回1人500円・障がい者の放課後児童の野外活動の場合は人数制限なく1回3000円）